

授業科目 NO. 601 看護管理

Nursing Management

授業の形態： 講義
単位数（時間数）： 1単位（15時間）
開講年次・学期： 2年次・後期
必修・選択の別： 必修
キーワード： 看護管理、看護倫理、安全管理、組織、チーム医療、多職種連携

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② **看護学の知識と技術、及び実践力**
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

看護専門職として継続的に良質で安全なケアを提供するために、ケアの質と安全を管理するための基本的知識の修得及び、ケアの受け手となる人々や生活に係る保健・医療・福祉全ての人々と協働していくための基本的知識を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 看護におけるマネジメントの変遷を理解し、看護師に求められるマネジメントについて説明できる。(②)
- (2) 看護ケアの主体となる対象者により質の高いケアを提供するために必要な看護倫理の基礎や概念を説明することができる。(①)
- (3) チーム医療や多職種連携の必要性、チーム機能の向上やスムーズな職種間の連携を行うための知識を修得し、自身の課題について述べることができる。(②③)
- (4) 組織としての安全管理に関する取り組みについて説明することができる。(②)
- (5) 継続的に良質で安全なケアを提供するための組織化や看護提供方式等のシステムが説明できる。(②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	70%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：直井 千津子

教 授 平松 知子 (老年看護学)
 嘱託講師 直井 千津子 (老年看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当者2名は看護師としての実務経験あり。

7 教科書

ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 メディカ出版

8 推薦参考書

系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[1] 看護管理、医学書院

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要である。

教科書による事前学習を行い、理解できない内容をメモして授業にのぞむこと。

1回目の授業 教科書1章 社会の変化と看護職の役割

3章 看護マネジメントとは

2・3回目の授業 教科書2章 協働：他者とともに活動すること

4・6回目の授業 教科書5章 看護の質向上のための取り組み1

看護組織の活動と倫理 看護職の倫理綱領

5回目の授業 教科書4章 組織で取り組む看護活動

7・7.5回目の授業 教科書5章 看護の質向上のための取り組み 安全管理

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

1) 提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。

2) 試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。

11 履修上の注意事項

授業のグループワークやディスカッション時は、積極的に参加すること。

12 オフィスアワー等

質問は随時可能である。但し、事前にメールで都合を確認することが望ましい。

平松 hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

直井 c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

看護管理

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	12月13日(金)	2	講義	看護管理とは		老年看護学	直井講師
後	2	12月20日(金)	2	講義	協働 チーム医療		老年看護学	直井講師
後	3	1月10日(金)	2	講義	協働 リーダーシップ		老年看護学	直井講師
後	4	1月17日(金)	2	講義	看護倫理の基礎・概念(1)		老年看護学	平松教授
後	5	1月17日(金)	3	講義	組織で取り組む看護活動		老年看護学	直井講師
後	6	1月24日(金)	2	講義	看護倫理の基礎・概念(2)		老年看護学	平松教授
後	7	1月24日(金)	3	講義	看護の質向上のための取り組み(1)		老年看護学	直井講師
後	8(7.5)	1月31日(金)	3	講義	看護の質向上のための取り組み(2)	レポート	老年看護学	直井講師